

JAL被解雇者労働組合（JAL争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>

「JAL 不当解雇撤回争議支援東京連絡会」主催

11・27 第3回 品川駅統一宣伝行動 鳥取社長！みんなの声に耳を傾け決断せよ！

11月27日、品川駅港南口にて「東京連絡会」主催の統一宣伝行動が行われました。昨年11月に行われた第1回目から、今回で第3回目となります。回数を重ねるごとに参加者の数が増え、運動の拡がりを実感しました。家路に急ぐ仕事帰りの方々が多い中で、JAL争議の解決を真摯に願う皆様の訴えに拍手をして下さったり、若いビジネスマンの方々が耳を傾けて下さるなど、共感する対応が見られました。

争議解決は当該はもちろん、会社・利用者双方にとっても重要です。あとは鳥取社長の決断だけです。

主催者挨拶

新宿一般労組 鈴木等さん



JALは昨年1月に羽田空港で海上保安庁機と衝突事故を起こしました。また、駐機場での接触事故、停止線のオーバーランなどを起こし、鳥取社長は、社長就任早々に国交省から「厳重注意」を受け、今年は、飲酒問題で「厳重注意」を受けました。飲酒の原因を個人責任にせず、JALの労働環境を改めるべき。安全はパイロット・客室乗務員・整備士等、現場の労働者が一体となって守っています。JAL争議への支援を心から訴えます。

労働団体や地域労組から 代表6名が訴え！

「解雇の金銭解決制度の議論再開や労働時間の規制緩和も狙われている中、人間が大切にされ、安心して働ける社会を実現させるためにJALの解雇は許してはいけない」との訴えが労働者の皆さんに響きました。



JHU 山口委員長と平井書記次長が訴え

「15年も解決しないのは無責任かつ人権問題だ。早期に解決すべき」

